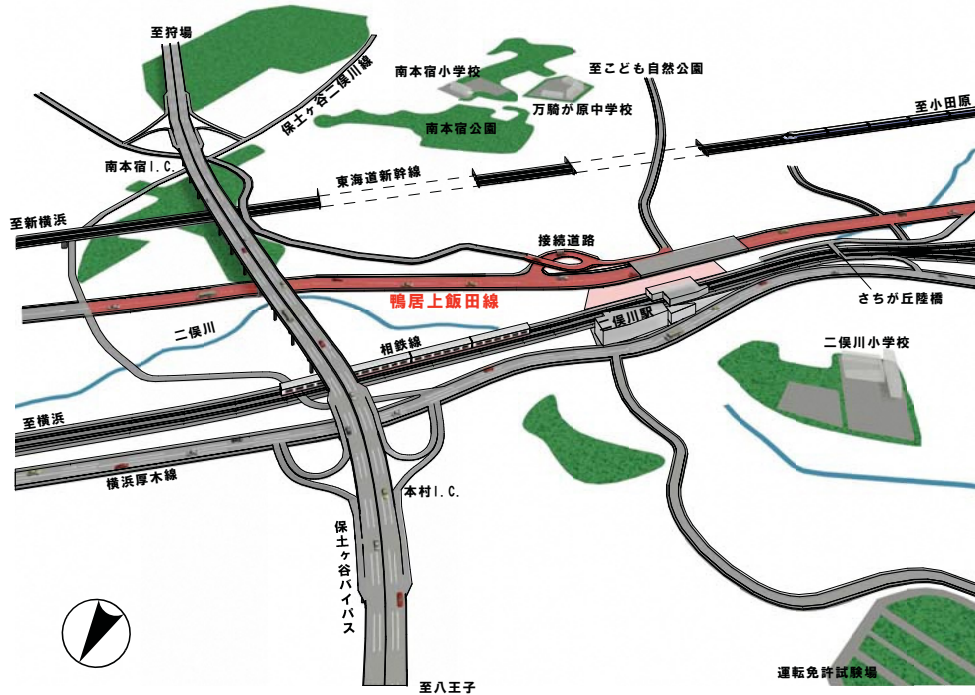


イメージ図



都市計画道路

鴨居上飯田線（本宿・二俣川、さちが丘地区）事業概要 横浜市道路局

事業概要

事業地区：本宿・二俣川地区	事業地区：さちが丘地区
区間：旭区本宿町～さちが丘	区間：旭区さちが丘
延長：約1,270m	延長：約360m
幅員：18m～28.5m (両側歩道；歩道幅員4.5m)	幅員：18m (両側歩道；歩道幅員4.5m)
車線数：本線2車線(片側1車線)	車線数：本線2車線(片側1車線)

整備の目的・効果

●道路の体系的な整備を進めます

鴨居上飯田線は、横浜市の骨格となる幹線道路として重点的に整備を進めている3環状10放射状型の幹線道路を補完する道路として位置づけられており、市北部の都筑区池辺町を起点とし、地域拠点としての二俣川・鶴ヶ峰地区を経由し、泉区上飯田町(大和市境)を終点とする延長約13kmの幹線道路です。

このうち、鴨居上飯田線(本宿・二俣川地区、さちが丘地区)の整備により、中田さちが丘線や保土ヶ谷二俣川線、保土ヶ谷バイパス(南本宿インターチェンジ)との連絡が強化されるなど、二俣川地区周辺における道路網の体系的な整備を推進します。

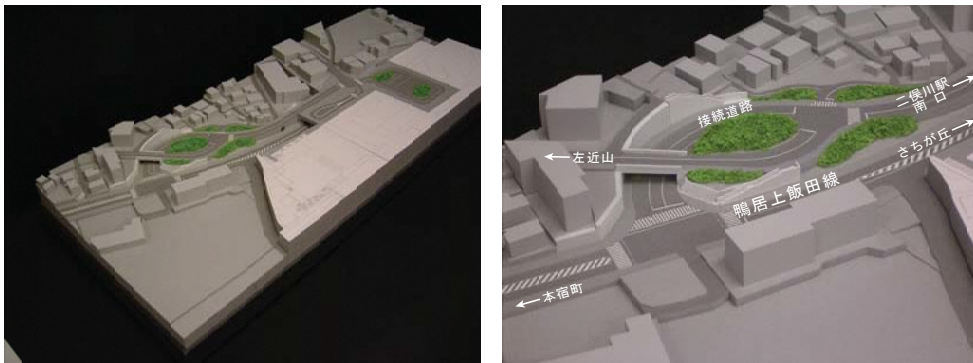
●駅へのアクセスを改善します

鴨居上飯田線の整備と合わせ、二俣川駅南口への接続道路を整備することで、駅へのアクセスを改善します。

●自動車の交通動線を改善し、生活環境の向上を図ります

住宅地に入り込んでいる通過交通を鴨居上飯田線へ転換させることで、歩行者の安全の確保と生活環境の向上を図ります。

二俣川駅南口周辺(模型写真)



鴨居上飯田線(本宿・二俣川地区、さちが丘地区)の位置

